

令和3年度第1回向日市地域公共交通会議 議事録

(令和3年5月24日書面表決)

議 事 1 ぐるっとむこうバス令和3年10月以降の運行継続について
承認22、不承認0

表決結果 議事について、承認されました。

意 見

意見 1

コロナ禍の中、議案書等送付頂きありがとうございます。

ぐるっとむこうバスの運行についても、引き続き運行よろしく申し上げます。5つの評価目標、このコロナ禍の中、つかみきれないことと思います。私たちも4月に新庁舎のレストランなど10人でぐるっとむこうバスに乗り久しぶりに行くことができました。コロナ感染が落ち着けば利用者も増えることと思いますし、私も率先して利用したいと思います。

上植野地域は阪急バスの減便により、通勤に利用されていた方が本当に困っておられます。阪急バスの減便を補っていただくようにぐるっとむこうバスの早い増便をして頂きたいと思います。

北コースのように、最後の便を減らすということではなく、運行されてから私たちも調査を兼ねて乗ってみましたが、最後の便は多くの方が利用されていましたので、減便ではなく8時台の便を増便していただきたい。今後このことと、阪急西向日駅経由の便の変更等もお願いします。

この間も高齢の方がたぶんお買い物と思いますが、同じ方が利用されているのを見かけています。ぐるっとむこうバス利用者からのお便りがあつたように、利用時間が合えば大事なバスになると思います。どうかこれからも利用者の声を聞いていただき、ぐるっとむこうバスが市民の生活に無くてはならないものになるように、よろしく願いいたします。

意見 2

コロナ禍で外出自粛が続く中でも、運行の努力がなされていることに敬意を表します。

資料を拝見し、少しずつでも市民の足として認識されつつあると感じています。こういう状況下での運行なので、現在の状態をもつての是非を問うのは難しいと思います。

できるだけ現状維持ができるよう、今後は地域住民も一緒になってどこを見直し、どうしたらいいのか懇談などできることを望みます。

意見 3

利用のしやすさも重視する必要があると思います。以前にも申し上げましたが、市役所前のバス停が新しい市役所の正面にあるにも関わらず、ぐるっと回りこむ必要があり不便です。

市民会館が完成すれば利用者は大きく増加が見込まれます。是非スロープをゆつたりと設置していただきたい。

意見 4

現在、コロナ禍のため、外出自粛と感染症予防の観点から公共交通の利用者が減少しており、どの交通事業者も経営難が余儀なくされています。ぐるっとむこうバスについても同様の状況であることから、平均乗車人数が目標に達していない現状であっても、それで直ちに運行を見直すということにはならないと思います。

欧米諸国が「グリーンリカバリー」として、環境重視の復興を行っており、その中で公共交通や自転車が重要な役割を期待されています。向日市においても、コロナ禍からの復興を環境重視で行い、ぐるっとむこうバスをその重要施策に位置付ける等して、市民に理解を求めてはどうでしょうか？